

「化学生命工学基礎」今後の予定

『化学』と『バイオテクノロジー』が融合した新たな領域の魅力を
最先端のトピックスを交えて紹介していきます

- 4/7 化学と生物学を橋渡しする分子のデザイン、そこから生まれる健康社会【岡本 晃充】
- 4/14 RNAと生命現象：病気の原因を分子レベルで理解する【鈴木 勉】
- 4/21 水を材料として使う：ゲルの物理化学の深化と医療材料への展開【酒井 崇匡】
- 4/28 海水から真水！：世界の水問題解決に貢献する高分子分離膜【辺見 昌弘】
- 5/12 光を操る・光が操る機能性超分子：エネルギー材料革命【加藤 隆史】
- 5/19 分子界面現象から読み解く材料特性・生体機能【伊藤 喜光】
- 5/26 有機エレクトロニクスを活用した化学センサ【南 豪】
- 6/9 二酸化炭素、廃プラスチック...使えない原料を使うための化学【野崎 京子】
- 6/16 ニューロンの機能を分子の言葉で読み解く【平林 祐介】
- 6/23 生命の源「アミノ酸」～生理機能からモノづくりまで～【涌井 渉】
- 6/30 クライオ電子顕微鏡で新型コロナウイルスを視る【西増 弘志】
- 7/7 工学から創薬に挑む：物理化学と計算科学による蛋白質相互作用の制御
【津本 浩平】
- 7/14 ケミカルバイオロジー：生命を化学で理解し、制御する【山東 信介】

「化学生命工学基礎」レポートについて

問い合わせ先：南 豪 (化学生命工学専攻)
tminami@g.ecc.u-tokyo.ac.jp

- レポートは**2回**提出

1回目 : 4/7～5/26の課題から**1課題を選択**し、
レポートにまとめ、提出。(提出期間: 5/26(金)～6/2(金) 18時まで)

2回目 : 6/9～7/14の課題から**1課題を選択**し、
レポートにまとめ、提出。(提出期間: 7/7(金)～7/14(金) 18時まで)

最終回から締切までの期間が短いので注意！

各課題についてA4で2～3枚程度を目安にまとめる

- レポートには**課題選択した教員名を記す**こと。(何の課題に対するレポートか分かるようにして下さい)
- 提出先: ITC-LMSを通じてPDFファイルをアップロード (**締切厳守**)

最新情報は化学生命工学科HPの講義紹介ページに掲載します。
随時確認をお願いします(急な変更は講義の時にも案内する予定です)。

<http://www.chembio.t.u-tokyo.ac.jp/undergraduate/sougou.html>